

2015年度 日本文化人類学会 第1回評議員会 議事録(案)

日時：2015年5月30日(土) 11:00～12:30

会場：大阪国際交流センター 3階 会議室「银杏」

<出席者>関根 康正、赤堀 雅幸、池田 光穂、石田 慎一郎、上杉 富之、太田 好信、小川 さやか、春日 直樹、岸上 伸啓、木村 周平、窪田 幸子、栗田 博之、桑山 敬己、慶田 勝彦、小池 誠、湖中 真哉、シンジルト、菅原 和孝、関根 久雄、曾 士才、田中 雅一、名和 克郎、浜本 満、真島 一郎、松田 素二、松村 圭一郎、丸山 淳子、山本 真鳥、楊 海英(大野旭)、渡邊 欣雄

<委任状提出>東 賢太郎、内堀 基光、岡田 浩樹、大杉 高司、奥野 克巳、小田 博志、亀井 伸孝、後藤 明、白川 琢磨、白川 千尋、鷹木 恵子、出利葉 浩司、三尾 稔、和崎 春日、渡邊 日日

<欠席者>佐々木 史郎、瀬川 昌久

議長：曾士才

〔議題〕

- 2014年度事業報告について
 - 松村庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
- 2014年度決算について
 - 赤堀会計担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。また、2013年度と2014年度にまたがり準備、実施された学会50周年記念国際研究大会の収支決算について資料に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
- 2015年度事業計画(案)について
 - 松村庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。また、学会50周年記念事業については報告書が提出され、これにより事業終了を確認したことが報告された。
- 2015年度予算(案)について
 - 赤堀会計担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。また、次の2点について説明がなされ、審議の結果、承認された。
 - ①将来計画基金より2014年度に学会50周年記念事業のため500万円を引き出したが、第48回研究大会において余剰金の返金があったため、この返金分相当額を2015年度に将来計画基金へ組み入れること。
 - ②ここ10年間の学会会計の経常収支を調べたところ、一つの年度を除き毎年赤字が続いていることを確認したこと。
 - 関根会長より、長年経常収支の赤字が常態化しており、必要に応じて拡大してきた事業を縮小することは困難ではあるが、事業の統合・整理を検討する必要があること、過去30年間会費値上げが実施されていないという状況を鑑みて、会員の理解を得た上で、会費の値上げを今期理事会において検討を行うことが提案され、審議の結果、承認された。
- 学会法人化について
 - 山本理事(法人化検討委員会委員長)より、日本学術会議が各学協会に対し法人格の取得を推奨しており、これを受けて法人化検討委員会で検討を重ね「一般社団法人に移行することが望

ましい」との結論に至ったこと、今後第26期理事会では委員会の検討結果を受けて一般社団法人化に向けて具体的な検討に入ることが提案され、審議の結果、承認された。法人移行の主な理由は以下の5点。

- ①法人格を持つと学会が契約主体となることができる。(例:銀行口座の開設等)
- ②現在任意団体である本学会は税制上適切な状態とは言えない。
- ③他学会の動向を見ても、同規模の学会が法人格を取得しつつある。
- ④一般社団法人となる場合、「一般社団法人日本文化人類学会定款」を作成する必要があるが、これによって学会のガバナンスが大きく改変されることは無いと考えられる。ただし、いくつかの点については慎重に検討を加える必要がある。
- ⑤一般社団法人格の取得手続き費用や、登記費用、法人税を納める必要があるが、これらの支出を学会が負担することはさほど困難ではない。

6. 名誉会員候補者の推薦について

- ・松村庶務担当理事より、「名誉会員に関する内規」に依拠し、今年度は評議員会に対する理事会からの名誉会員候補者の推薦がないことが報告され、総会に対する評議員会からの名誉会員候補者の推薦がないことが承認された。

7. その他

- ・松村庶務担当理事より、今回の総会で黙祷を捧げる物故会員についての説明がなされた後、他の物故会員についての情報提供が求められ、最終的に7名に黙祷を捧げることが確認された。

以上